

にぎわう 専門通販

市販品より効果的なものが欲しい……。クレメンティア（神奈川県伊勢原市）が運営する「洗車の王国」は約百種類のオリジナル商品を扱っている。車愛好家の声を取り入れた商品を開発するなど価格競争を回避する戦略で売り上げを伸ばす。二〇〇七年の楽天ショップ・オブ・ザ・イヤーのジャンル賞を獲得。人気は海外まで広がり、中国などから注文が入るまでになった。

洗車の王国 カー用品 クレメンティア(神奈川県伊勢原市)

《会社概要》

▽設立 1997年7月
▽代表者 相原浩社長 (34)
▽取扱品目 洗車用品
▽従業員 14人 (パート含む)
▽売上高 2億円
 (08年6月期見込み)
▽URL <http://www.rakuten.ne.jp/gold/sensya/>



独自商品で価格競争を回避

顧客目線、海外からも注文

剤など約四十種類、約百品がランクインする。車内の消臭剤やガラス用のコーティング剤、初めは専ら車内用品が中心だったが、現在は車体やガラスの部品も取り扱うようになった。顧客目線の商品開発が進み、海外からも注文が入るようになった。特に中国や韓国、遠くはアフリカやウガンダから注文が舞い込むようになった。特に中国は黄砂などによる大気汚染がひどく、車のメンテナンスが頻りに行われている。また国内の自動車市場は成熟した市場で、消費者の要望が高まり、車体への塗装だけでなく、車内用品やガラスのコーティング剤など、車のあらゆる部分にこだわるようになった。このため、洗車用品の市場は拡大し、洗車用品の需要が高まっている。相原浩社長は「洗車の王国」という看板を掲げた洗車店が登場した。『まったく予期しなかった』（相原社

ポリマー加工のセルフ化が進み、車体が汚れやすい。工やガラス「所有者自ら洗車する」という商機が生まれる。「相原社長」とも、四年前七月にネット通販に参入した。当初は「商品からスタートし、メールマガジンを打っても反応がない」と苦労もあった。それでも顧客目線の商品や、洗車に関するノウハウを中本製品への根強い人気を取り入れようと、輸入し、今や数千円という日定。海外部門の売上高もこのため昨年は中国へ四回渡り、今春にも北京を訪問し、商談で訪れる予定だ。（相原社長）

（原島大介）